

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

固定資産の減価償却は、定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
定期預金	30,000,000	70,000,000	0	100,000,000
投資有価証券	70,000,000	-70,000,000	0	0
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
(特定資産)				
小計	0	0	0	0
合計	100,000,000	0	0	100,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
(基本財産)				
定期預金	100,000,000	(0)	(100,000,000)	(0)
投資有価証券	0	(0)	(0)	(0)
小計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	(0)
合計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	(0)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	237,288,940	237,288,940	0
器具備品	20,641,563	20,641,557	6
合計	257,930,503	257,930,497	6